

# 自治基本条例って何だ？

岸和田市自治基本条例・デジタル教材

音声スクリプト



あおい

はると

先生

ナ：ナレーション

## オープニング

00:00



「ねえねえ、あおいさんは岸和田ってどんなまちだとおもう？」



「うーん… 古いまちなみも残っているし、自然も豊かで住みやすいまちだと思うよ。はるとさんはどう思うの？」

「そうだね、山も海も近いから、新鮮な野菜やくだもの、魚などが手に入りやすく、食べ物おいしいね。それと岸和田の人たちって気さくで世話好きな人が多いよね。」

「ほんとだね。いろいろいいところがあるんだね〜。」



「でも、岸和田のまちってだれがどうやってつくっているのかな〜？」

「考えたことないな〜」

「そうだ！一緒に考えてみない？」



ナ「岸和田市のまちづくりのルールを学ぼう！」

「自治基本条例って何だ？」

## 1 まちづくりと政治

01:12



ナ「まちづくりと政治」

ナ「ある放課後…はるとさんとあおいさんは岸和田市をもっといいまちにするために話合っているところです。」



「今よりもっといいまちにするには、どうすればいいのかな？」

「まちがキレイになったらいいんじゃない？」

「そっか！あっ！楽しいまちも住みやすいよね！」

「みんなが健康で元気なまちもいいね。」

ナ「みんなが思う理想のまちは様々です。」

「はるとさんとあおいさんが思うまちのほかにも、『安心・安全なまち』『こどもやお年寄りに優しいまち』『自然豊かなまち』といった意見もあるでしょう。」



「二人で何の話をしてるんだい。」

「あっ！先生こんにちは。」

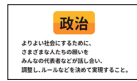
「あおいさんとどうすれば岸和田市がもっと良くなるか話をしてたんです。」

「でも、人それぞれ思うまちの姿はちがうなあっていう話になって…」



「なるほど〜。確かに、みんなが思いえがくまちの姿は、さまざまだね。」

「実は、今きみたちが考えていたように、みんなが思う、さまざまな意見を取り入れてまちをもっとよくするために、**政治**が関わっているんだよ。」



政治

よりよい社会にするために、さまざまな人たちの願いをみんなが代表者などが話し合い、調整し、ルールなどを決めて、実現すること。

ナ「政治」

「**政治**とは、よりよい社会にするために、さまざまな人たちの願いをみんなの代表者などが話し合い、調整し、ルールなどを決めて、実現することです。」



ナ「たとえば、クラスや学年、学校全体を見わたすと、みんなのまわりにはいろいろな人がいるように、まちにもおおぜいの人が暮らしています。」

「そのすべての人たちが安心して暮らすことができるように、そして人間らしく豊かに生活していくことができるように、まちの姿、つまり社会や制度を整えていくことは大事です。」



ナ「『もっとこうなればいいのに』『こうすれば便利なのに』という、たくさんの人たちの願いがありますが、そのたくさんの人たちは、みんなそれぞれちがった考え方を持っています。」

「1つの問題に対していろいろな意見があるし、対立や争いが起こることだってあります。」



ナ「これを解消するために、いろいろなことを調整しルールを決め、みんなの願いを実現する。それが**政治**の大きな役割です。」

「**政治**に参加する方法で、最も重要なのが、**選挙**での投票だね。」



「以前は、20才以上の人だったけど、今では18才以上の人が投票できるようになったんだ。」

「私も18才になったら投票する。」

「ぼくも絶対に**選挙**に行くよ。」



「そうだね。まちづくりを進めるうえで、みんなが政治の仕組みを理解して、参加することはとても大切なことなんだよ。」

「それじゃ、みんなの暮らしに関係の深い岸和田市では、どんな仕組みで政治が行われているか見てみようか！」

## 2 岸和田市の政治

04:37

岸和田市の政治

### ナ 「岸和田市の政治」



ナ 「まずは、日本全体を見わたしてみましょう。」

「日本には47もの都道府県があり、社会で起きている様々な問題を解決するためには、みんなで話し合ってルールなどを決めていく必要があります。」

ナ 「しかし、日本に住む人全員で話し合うのは不可能なので、代表者をみんなで選び、その人たちが話し合って政治を行っています。」



ナ 「しかし、それぞれの地域によって、かかえている課題や問題は違うので、地域の問題は地域のみで解決していく必要があるのです。」



ナ 「こういった課題や問題を、地域の住民が自ら解決し、願いを実現していく政治のあり方を『地方自治』といいます。」



ナ 「ではわたしたちが住む、岸和田市の政治の仕組みはどうでしょう？」

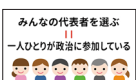


ナ 「日本全体の場合と同様に、岸和田市の代表者も市民みんなで選びます。この代表者を選ぶ仕組みのことを『選挙』といいます。」



ナ 「選挙によって市民が選んだ代表者、つまり岸和田市長や岸和田市議会議員がおり、市長は市民の暮らしを支える仕事を行って、岸和田市議会では、市長から提案される予算案、地域に関わるルール、政策や市民生活のいろいろな問題について話し合い、市政の重要なことがらを決めています。」

ナ 「このように岸和田市の中でも、代表者をみんなで選び、その人たちが話し合って政治を行っています。」



ナ 「つまり、代表者を選んでいる私たち一人ひとりが、政治に参加しているということになるのです。」

## 3 助け合いのまちづくり

06:33

助け合いのまちづくり  
自助・共助・公助から考える

### ナ 助け合いのまちづくり

～自助・共助・公助から考える～



「まちづくりに参加するには、選挙に行くしか方法はないんですか？」

「選挙で選ばれた代表者ががんばってもらうしかないのかな～？」



「いい質問だね。まちづくりを進める上で政治がとっても重要なのはもちろんだけど、まちの主役はみんなだから、まちづくりはみんなの手で進めることができるんだ。」

「えっ！ どういうことですか？」



「じゃあここでクイズ！」

「例えばまちから犯罪をなくすために、自分自身ができることはないかな？」

A: どろぼうを捕まえる。

B: みんなで地域を見まわる。

C: 夜、一人で出歩かない。」

「あおいさん、どれかわかるかな？」



「う～ん。Cかな？夜一人で出歩かないようにすれば、犯罪に巻き込まれることは少なくなるんじゃないかしら？」

「おみごと！大正解！」

「やったあ～！」



「こうやって、自分の身のまわりでできることを、自分自身で取り組む。」

これもまちづくりのひとつで、こういった取り組みを『自助』っていうんだ。」

「でも、まち全体から犯罪を減らそうと思ったら、それだけで大丈夫なのかな～？」

「地域で見守り活動や、見まわり活動ってやってないかい？」



「そういえば！この前、ぼくのお兄ちゃんが、地域の見まわり活動に参加してたよ。」

「わたしも、日が暮れてから道を歩いてたら、早くおうちに帰るようにって注意されたことがあるよ。」



「そうそう！ そういった、まわりのみんなと協力しあって、まちをよくする取り組みを『共助』っていうんだよ。」



「例えば、『子どもの安全見守り隊』なんかがそうだよね！PTAや地域の方々が、君たちの登下校時の安全・安心を確保するために、通学路に立ってくれているんだ。みんなで協力しあうからこそ、みんなが安心して住めるまちになるんだよ。」



「だけど、市民のみんなだけではどうすることもできない場合だってあるよね？」

「どろぼうをつかまえるなんてできないよ。」

「そういえばお兄ちゃんが、見まわり活動をしているときにふしん者を発見したら、警察へ通報するって言ってたなあ～」

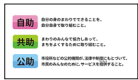


「そうだね。そんなとき、市役所や警察の出番があるんだけど、こういった公的機関が、市民のみんなのためにサービスを提供することを『公助』っていうんだ。」



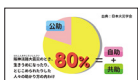
「市役所や警察がすることだけではなくて、まわりのみんなの協力や、ひとりひとりの心がけすべてが『まちづくり』につながるんだよ。」

「そうだったんだ〜！」



「では、おさらいしましょう。  
『自助』は、自分の身のまわりでできることを、自分自身で取り組むこと。  
『共助』はまわりのみんなで協力しあって、まちをよくするために取り組むこと。  
『公助』は市役所などの公的機関が、法律や制度にもとづいて、市民のみんなのために、サービスを提供すること。  
しっかり理解できたかな？」

「特に、災害時などの非常時には、『自助』『共助』のパワーが重要になります。」



「実際、1995年1月に発生した阪神・淡路大震災では、地震によってこわれた建物から救出され生き延びることができた人のおよそ8割が、家族や近所の住民などに救出されていて、消防、警察や自衛隊に救出されたのは、およそ2割といわれています。」



「政治とかまちづくりって、もっと大人にならないと参加できないと思ってたけど、ずっと身近なものだったのね。」

「選挙で投票するだけがまちづくりじゃないんだね。」



「いざという時に、まわりのみんなで助けあえる。犯罪が起こらないように自分自身で気をつける。何気ないことだけど、改めて意識することから、まちづくりは始まるんだ。」  
「みんなも、身のまわりの自助・共助・公助について考えてみてね！」



「ぼく、今日お父さんと話してみます！」

「『まちづくりと政治』についてよくわかりました。ありがとうございました！」

「それでは、岸和田市自治基本条例とはどんなものか見ていきましょう。」



「あおいさん、むずかしい顔してどうしたの？」

「私たちがいろいろな場面でまちづくりに参加できることはわかったよ。でも年れいや考え方や、立場違ってちがう人たちがいるのに、ほんとうにうまくいくのかな〜と思って。」

「ぼくは自分がどんなことができるのかまだわからないな。」

「そうだね！じゃあ、少し復習しようか。」



「『まちづくりと政治』を学習をしたときに、政治って代表者などがいろいろなことを調整し、ルールを決めたりして、みんなの願いを実現することだって説明したね。」

「はい。教えてもらいました。」



「それから、自助、共助、公助の学習をしたときも、まちづくりは代表者だけがするんじゃないくて、自分たちも参加できるってことが分かったね。」

「はい。」

「はるとさんとあおいさんは、いろんな人たちがいるなかで、一緒にまちづくりをするために、どうやって調整したり、どういう形で参加すればいいか、なやんでいると思うんだけど、例えば、みんなでまちづくりに取り組むためのルールがあればどうかな？」



「まちづくりのルール!？」

「あっ！たしかに、どうやってまちづくりに参加するかルールがあったほうがわかりやすいかも。」



「岸和田市では、市民がまず安心して、いつまでも住み続けることができるように、自分たちでまちづくりをしていこうと考えたんだ。」



「市民が主役になって自分たちの手でつくるまち。これを『市民自治都市』っていうんだよ。」



「また、『市民自治都市』を実現するためには、市役所や市議会や市民がどう関わって、どう調整したり、参加したりすればいいかを示すルールが必要だと考えたんだ。」



「今から10年以上前の、2005年8月に市民、事業者、議会や市役所が一丸となってまちづくりのルールをつくったんだよ。」  
「それが、自治基本条例なんだ。」

「市民も一緒に頑張ってつくったの？すごい！」

## 4 自治基本条例

11:35



### 「自治基本条例」



「岸和田市では地域が抱える問題を市民みずから考え、まちづくりに参加し、問題を解決することが大切だと考え、それらを実現するためのルールとして『岸和田市自治基本条例』をつくりました。」





「自分たちのまちだから、自分たちでしんけんに考える。だから市民も一緒にって条例づくりをしたんだ。」



「実は、大阪府内で一番最初に**自治基本条例**をつくったのは岸和田市なんだよ。」

「へえ、一番なんだ。みんなにじまんでるね！」



「『**自治**』っていうのは、『自分たちで決め、自分たちでまちをつくる』、『**基本**』は『とても大切な』、『**条例**』は『まちづくりのルール』っていう意味だよ。」

「岸和田市にまちづくりのルールがあったんだ。知らなかったな〜。」

「じゃあ、その**自治基本条例**にはどんなルールが決められているんですか。」



「そうだね、まず、みんなの役割を決めているんだよ。市民、市内で商売をする人、市長、市役所、市議会など様々な立場の人の役割を決めているんだ。」



「市役所だけでなく、市民である、ぼくやお父さん、お母さんにも役割があるんですね。」

「そうだよ。その他にも**自治基本条例**にはたくさんの内容が盛り込まれているんだ。」  
「次は、その中身について学んでみよう。」

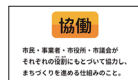


「正解は…ぜんぶ『**協働**』！  
身近なことで言えば、『ポイ捨てしない』も**協働**なんだよ。  
君たちにも簡単にできることだよ。」



「そっか！『できることをやる』っていう気持ちか、大事なんだ。」

「私もできることからやってみるね。」



「『**協働**』市民・事業者・市役所・市議会がそれぞれの役割にもとづいて協力し、まちづくりを進める仕組みのこと。」



「きれいなまちにする活動で、ゴミのポイ捨てをしない、地域みんなで公園をきれいにする、市役所も協力して川の清そうをする、はそれぞれ、『**自助**』・『**共助**』・『**公助**』にあたります。」

「つまり、自分の身のまわりでできることを自分で取り組む『**自助**』。まわりのみんなで協力しあって、まちをよくする『**共助**』。公的機関が市民にサービスを提供する『**公助**』。それぞれが協力・連けいることが**協働**なのです。」



「『自分でできることは自分です。』も**協働**につながる。だから、さっきの『ポイ捨てしない』も**協働**なんだよ。」



## 「参画」



「ところで、クラスで何かを決めるときには先生が勝手に決めていいと思う？」

「私たちの意見も聞いてくれるとうれしいな〜」

「そうだね。」

「じゃあ、まちづくりではどう思う？」

「もちろん、みんなの意見も聞いてほしいな！」



「でも、まちづくりということは、市役所に対して意見を出すってこと？」

「市役所に意見を出す？ そんなの無理だよ〜！」



「それができるんだよ。岸和田市の場合は**意見聴取制度**というしくみがあるんだよ。知ってるかい？」

「**意見聴取制度**!? それって、ぼくたちも利用できるの？」

「もちろん！ 年れいによる制限はないから、君たちにも利用できる制度なんだ。」



「**意見聴取制度**とは、市が計画や条例をつくらうとする段階で、その大もととなる案を示して、市民の意見を聞き取ろうとする制度です。」

「実際に、市民の意見をきき、計画内容の一部を修正したり、よりわかりやすくするために資料を追加することがあります。」

## 5 自治基本条例を理解する3つのキーワード 15:42



「自治基本条例を理解する3つのキーワード  
～協働・参画・情報共有～」



「**協働**」

「はるとさん。『**協働**』って言葉を知っているかな？」

「なにそれ〜 先生、教えて教えて！」



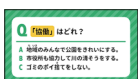
「みんなの力を合わせて、いろいろな問題を解決していくってことだよ。例えば、みんなが地域の公園をそうじするとかね！」



「私、この前、地域の人々と町内のゴミ拾いをしたよ！ あれも**協働**だったんだ。」

「でも、機会がないとなかなかできないや〜。」

「そうだね。でも特別なことをしなくても、自分でできることをするのも**協働**なんだよ。」



「じゃあここでクイズ！ 次のうち『**協働**』はどれかな？」

- 「A：地域の人々で公園をきれいにする。」
- 「B：市役所も協力して川の清そうをする。」
- 「C：ゴミのポイ捨てをしない。」



「みんながまちづくりについて意見を言える機会があったんだ！私も気になることがあれば、意見を出してみようかな～」

「<sup>しょうらい</sup>将来をにう君たちにはぜひ利用してほしいな！その他にも、まちづくりに関する会議に参加するなどのさまざまな方法があるんだよ。このように、<sup>いっしょ</sup>みんながまちづくりに対して意見を出したり、一緒に取り組んだりすることを『参画』というよ。」

#### 参画

みんなが、まちづくりの様々な場面で、意見を出したり、取組みに参加できる仕組みのこと。



「クラスのルールを決める場合も、みんなの意見<sup>いっしょ</sup>を聞いてから決めるのと一緒だね。」

#### 情報共有

#### ナ「情報共有」



「そういえば、今日、学校に新しい本がたくさん届いたよ。地域の人たちが寄付してくれたんだ。」

「やった～！どんな本があるの～？」

「新しい本の<sup>いちらんびょう</sup>一覧表ってあるのかな？」

「あるよ。けいじ板にはってあるから、見ておいでよ。」

「ありがとう先生！」



「学級通信でも新しい本のことをしようかいする予定だよ。みんなにたくさん本を読んでもらえるように、『お知らせ』をしているんだ。その他にも、みんなに知ってもらいたいことを学級通信にのせているから見ておいてね。」

「そうだ、反対にみんなが気になっていることがあれば、教えてほしいな。」



「そういえば、いつも僕が遊んでいるブランコがこわれているんだ！」



「そうなの！？ 教えてくれてありがとう！すぐに修理しないと危ないね。今みたいに、情報をみんなから先生に伝えることも大切なんだ。おたがいに十分に情報を知っていること。それを『情報共有』っていうんだよ。」

#### 情報共有

みんなが、まちの情報を十分に活用している状況をつくる仕組みのこと。

ナ「『情報共有』みんなが、まちの情報を十分に共有している状況をつくる仕組みのこと。」

「**情報共有**は、<sup>ていさきよう</sup>市役所が市民に対して積極的に情報を提供することだけではなく、市民からの情報発信があつてこそ成り立つものです。」



「みんなも、学校のこと何も知らないのはいやだよな。」

## 6 エンディング

22:02



「自治基本条例って、最初はむずかしそう～って思ったけど、みんなにとって、ずっと身近なものだったのね。」

「よく考えると、スポーツもルールがないと、めちゃくちゃになっちゃうもんね。」

「この条例は、よりよいまちをつくるために、さまざまな立場の人たちが参加できるようにつくられたものなんだ。」



「市民、事業者、議会や市役所が一丸となつてつくったこの自治基本条例には、まちづくりのルールがたくさん書かれているし、岸和田市の<sup>けんぱう</sup>憲法として位置づけられている、とても大切なものなんだよ。」



「まちづくりの大切なことがたくさんわかって、なんだか大人になった気分。」

「ぼく、もっともっと岸和田市が好きになれそう！」

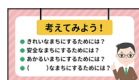
「わたしも！じゃあ、今から一緒に楽しく遊べる公園について考えてみない？」

「いいね！考えよう！」



「いろいろなまちづくりのルールを学んで、どう感じたかな？」

「みんなも、まわりの友達と、自分たちができる身近な取組みについて話し合ってみてほしいんだ。」



「きれいなまちにするためには？  
安全なまちにするためには？  
あかるいまちにするためには？  
( )なまちにするためには？」

「君たちひとりひとりが主役だよ。」

みんなの意見と行動で、もっともっといいまちにしていこうね。」